

## 黒木町の過疎化・高齢化の抑制と久留米市内のアクセス強化の私案

北九州県土整備事務所 岸川 雄次

私の故郷である黒木町は、人口減少や高齢化が急速に進んでおり、近いうちに廃山村となるのではと危惧されます。かつて、県内2番目の面積を誇り、澄んだ水と空気の中での生活は健康そのもので、中高一貫校もできましたが、昭和60年の国鉄矢部線廃止後、交通の不便さが著しくなり、通勤通学や買い物などが困難で、若い人が定住しない地域となりました。

そこで、若者の定住化を取り戻すために、また、今後の高齢化対策として、どのような対策が講じられるのかを考えてみました。

1 若山堤の下にある、旧矢部線のトンネルを活用した道路整備を行う。

- ① 犬山堤を経由する442号を利用するよりも20分程度の時間短縮が期待でき、八女インターや広川インターへのアクセス向上が図られる。
- ② さらに羽犬塚駅や久留米駅へ接続するバスを増便することで、買い物や通院、通勤通学の利便性が格段に向上する。

2 福岡方面へのアクセス向上のための、パークアンドライド施設を整備する。

黒木町から福岡市内への最短の交通手段は、自家用車でJR久留米駅に向かい、新幹線で博多に向かえば、約1時間強で到着しますが、久留米市内の交通混雑、渋滞の慢性化は、移動時間の無駄を招いています。そこで、時間短縮と利便性向上を図るために、

① JR久大本線 久留米大学前駅傍に、立体駐車場を整備する。

久留米大学前駅近傍で自家用車を駐車して、JR久大本線で久留米に移動すれば、そこから鹿児島本線または新幹線で九州各地へ移動できるので便利になる。

また、久留米大学前駅近傍で自家用車を駐車して、西鉄バスで西鉄久留米駅に移動すれば、そこから西鉄電車で大牟田や福岡への移動できるようになる。

② パークアンドライドの整備により、久留米市より南の地域からの車の乗り入れを減少させ、久留米市内の混雑を軽減できると思われる。

3 JR久大本線 久留米～御井間を複線化・電化する。

① 久留米～御井間は、現在でも高校生や大学生の通学利用者が多く、列車の車内が混んでいる。複線化・電化により、列車の増便やスピードアップが図れ、格段に便利になり、久留米市内の車の混雑も軽減できると期待できる。

② さらに、御井～善道寺間の農業試験場前に駅をつくる。

御井～善道寺間が長いし、農業試験場へのアクセスよくなる。

急速な過疎化、高齢化は、山村地域にとって共通の重要な課題であると思います。

黒木町が、かつての利便性を取り戻したら故郷へ帰ろうかとも思います。

